

第三十四卷第二号 (昭和五十五年九月)

論 文

生産と「消費」の矛盾 (いわゆる内在的

矛盾) について……………水谷謙治

——その基礎的考察とレーニンの見解の検討——

戦前の電力企業と減価償却 (二・完) ……大橋英五

価値理論の展開 (二) ……山本二三丸

研究ノート

利潤率と資本利益率について (二・完) ……高浦忠彦

戦後日本の産業循環に関する一考察……………小松善雄

マックス・ヴェーバーのドイツ第二帝政

社会批判 (二) ……小林純

第三十四卷第一号 (昭和五十五年六月)

論 文

利潤について……………三戸公

——主としてマルクスとドラッカー——

戦前の電力企業と減価償却……………大橋英五

価値理論の展開……………山本二三丸

価値・市場価値・虚偽の社会的価値……………井上周八

——高木彰氏の拙論批判によせて——

Conceptualising the Quality of Working Life (QWL)—No. II—……………菊野一雄

研究ノート

マックス・ヴェーバーのドイツ第二帝政

社会批判 (一) ……小林純

ジョン・ルークと「世界の工場」イギリス……………服部正治

——一九世紀初頭における地主階級の穀物法批判——

書 評

泉谷勝美著『複式簿記生成史論』……………茂木虎雄